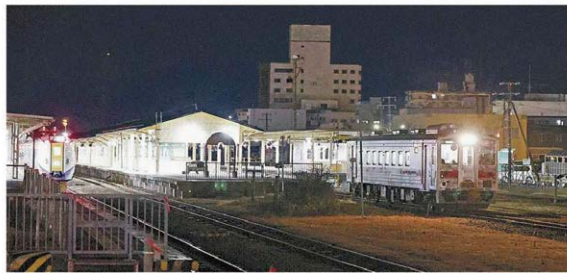




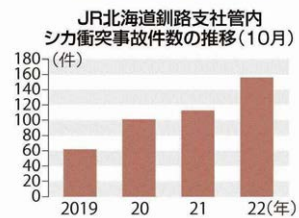
新聞で 読解力アップ! ワークシート

# シカ衝突回避 JR減速開始

## 釧網線・花咲線の一部



減速運転をするJR花咲線の釧路発根室行き普通列車  
＝5日午後7時ごろ、釧路駅（小川正成撮影）



「シカとの衝突は大幅な遅れの原因になるので慎重に走ってもらった方がいい」と減速運転を評価。釧路湖陵高1年の男子生徒(16)も「(減速運転で到着が遅くなるより)先月のように運休が続く方が不便」と話した。JRは、減速運転について「乗客には迷惑を掛けるが、事故防止策の一環として理解してほしい」としている。

【釧路】JR北海道釧路支社は5日、花咲線と釧網線の一部列車で減速運転を始めた。シカなど野生動物との衝突を防ぐため、来年3月末まで行い、効果を検証する。シカとの衝突回避が目的の減速運転は2010年以來12年ぶり。初日の列車を利用した乗客からは、対策におおむね理解を示す声が上がった。

(藤原那奈、佐竹直子、伊藤凱)

減速運転は花咲線釧路～根室間と釧網線釧路～摩周間で各日、動物との衝突が多い夕方から夜間の普通列車計7本で行う。到着時刻は通常ダイヤから最大16分遅れる。JRは駅構内の張り紙やホームページで減速運転を周知した。

利用者「運休より良い」 専門家「出没 安全学習か」

読解力は学力の基本です。記事を読んで、問題にチャレンジしましょう。

両線では10月以降、シカとの衝突回避のための急ブレーキなどで車輪に傷が付く、修理で車両遅れがつかず運休が相次いだ。シカ関連の運休は11月末までに94本(昨年同期7本)に達した。釧路支社管内の21年度のシカとの衝突件数(旅客のみ)は1023件で、記録が残る15年度以降最多。本年度も10月末時点で521件(昨年同期457件)と最多を更新するペースだ。貨物を加えた10月の衝突件数は156件と19年度比2・5倍に上るグラフ。

JR北海道によると、1996年度から21年度にかけて約1億円を投じ、両線などの一部線路沿いに侵入防止柵を設置するなど、対策を講じてきた。だが、シカの生態に詳しい道立総合研究機構自然環境部の稲富佳洋主任は「個体数の増加で山間部にすみこくくなる中、線路周辺は猟銃で狙われない安全な場所だとシカが学習し、出没が増えている可能性がある」と指摘している。

同日、減速運転する花咲線列車に釧路駅から乗り込んだ会社員山本忠文さん(58)「釧路管内浜中町」は「シカとの衝突は大幅な遅れの原因になるので慎重に走ってもらった方がいい」と減速運転を評価。釧路湖陵高1年の男子生徒(16)も「(減速運転で到着が遅くなるより)先月のように運休が続く方が不便」と話した。JRは、減速運転について「乗客には迷惑を掛けるが、事故防止策の一環として理解してほしい」としている。

『北海道新聞』2022年12月6日(火)朝刊(全道版)

(1)           とありますが、シカとの衝突を回避するため減速運転を行うことになった背景を説明しなさい。

(2) 列車とシカとの衝突事故防止のためにJRが行った対策として、減速運転以外の例を1つ書きなさい。

(3) 列車とシカとの衝突事故が増えている理由として、専門家はどのような可能性を指摘していますか。